

期待を超える技術サービス企業を目指して

中期経営計画

CSP
パワフル
2020

第46期(2018年2月期)～第49期(2021年2月期)

CSP
セントラル警備保障

10年後のCSPグループ

先端技術と多様な人材を活かし
業界No.1の技術サービス企業に!!



2027年(10年後)

連結売上高 1,000 億円	連結営業利益率 10%	連結ROE 10%
--------------------------	-----------------------	---------------------

2020年 東京オリンピック・パラリンピック開催

CSP
パワフル
2020

連結売上高 650 億円	連結営業利益率 6.0%	連結ROE 7.0%
------------------------	------------------------	----------------------

2019年
ラグビーワールドカップ開催

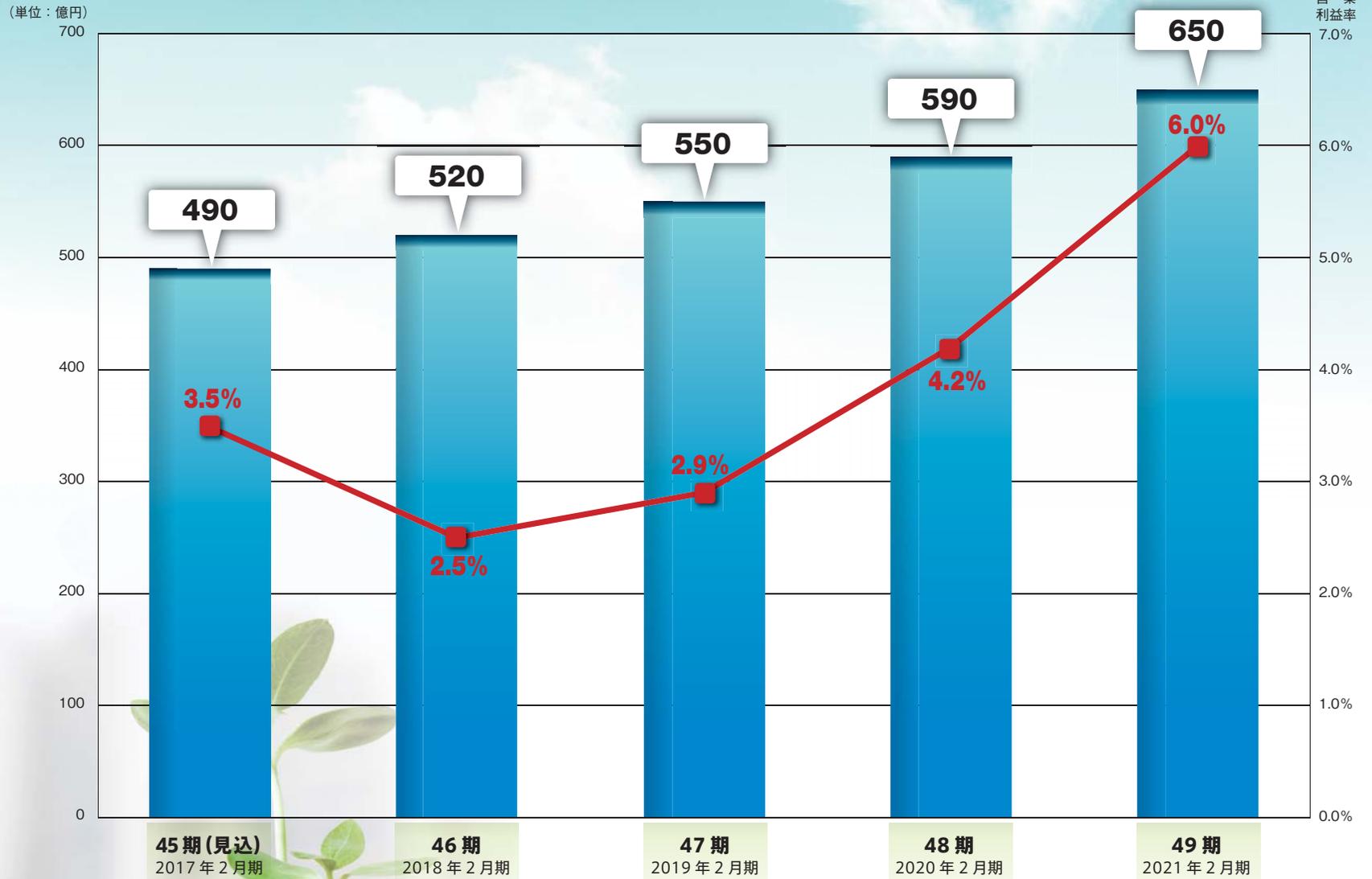
2016年

CSP
パワフル
50計画

連結売上高 490 億円	連結営業利益率 3.5%	連結ROE 5.4%
------------------------	------------------------	----------------------

※ 上記は見込み値です

4年後の連結売上高・営業利益率



基本方針

Basic policy

最新の技術をいち早く取り込み
お客さまの期待を超える
技術サービス企業を目指します

基本戦略

技術力の強化

収益力の向上

基盤の最適化

グループ連携の強化

Compliance

CSR

Core Value
Management

3つの**C**による経営基盤の確立

基本方針について

いま、私たちは新しい技術革新の波に洗われつつあり、これを乗り越えて企業グループとして生き残っていくためには、グループ全員がこれを次への発展の大きなチャンスと捉え、これまでの警備サービスのあり方にこだわらず、新しい道を切り拓き、私たちにしかできない独自のビジネスモデルをつくり上げていく必要があります。

時代が求める変化に柔軟に対応しつつ、いままでにもまして顧客満足No.1の警備会社であり続けていけるよう、「CSPパワフル2020」の基本方針を『最新の技術をいち早く取り込みお客さまの期待を超える技術サービス企業を目指します』と定めます。

基本戦略について

基本方針を実行に移すにあたっては、多様な人材やノウハウを活用し

- 1) これまでの労働集約型企業から技術サービス企業へ脱却し、
- 2) 一人ひとりの生産性の向上を図り、
- 3) 基盤である各種業務インフラを整備し、さらには、
- 4) グループ全体としての連携の強化を図っていかねばなりません。

- このことから、
- ① 技術力の強化
 - ② 収益力の向上
 - ③ 基盤の最適化
 - ④ グループ連携の強化

を、基本戦略の4本柱として掲げることとしました。

3つのCについて

そして、これらを土台からしっかり支えるものが、

1 Compliance

……コンプライアンス = 関係法令、社内規則、社員心得の遵守

2 CSR

……企業の社会的責任 = 創業の理念

3 Core Value Management

……コアバリュー経営 = 社訓 の3つのCになります。

グループ全員が、この3つの価値観を共有し、日々の仕事のみならず、人生そのものにも活かしていくことが、私たちの目指す姿です。

基本戦略

Basic strategy

- 新領域のサービス開発
- 最新技術の取り込みの迅速化
- システム化による業務効率の追求
- 先端技術の実用化の追求

技術力の強化

労働集約型企业から
技術サービス企業への
脱却

収益力の向上

高収益事業への
経営資源の選択と集中

- 画像サービスの拡充と拡販体制の確立
- 人的警備の省力化の促進
- 高付加価値が目に見えて実感できるサービスの提供
- M & A の推進

グループ連携の強化

グループ全体としての
収益力の向上

- 業務の効率化
- 収益拡大の模索
- 業務品質の向上
- 役割分担の明確化

基盤の最適化

安心・やりがいのある
職場環境の構築

- コンプライアンスの遵守と多様性を享受できる強くて柔軟な組織づくり
- 最大限のパフォーマンスと省力化の追求
- さらなるCS(顧客満足)の展開とES(社員満足)の実現

個別施策

Individual measures

最新の技術を取り入れ、
労働集約型企业から技術サービス企業へ脱却し
警備サービスのあり方を変えていく

新領域のサービス開発

常 常駐契約先向け
省人化商材の開発

機 交通系ICカードを利用した
新たな見守りサービスの展開

他 駐車場事業の拡大

システム化による業務効率の追求

全 システムの徹底活用による
後方業務の近代化

常 経験豊富な人材を活かした
常駐警備と機械警備の融合促進

常 常駐管制業務の統合・システム化

機 指令センター業務の効率化

技術力の強化

最新技術の取り込みの迅速化

全 最新技術を取り入れた当社独自の
新商品・サービスの早期実現

機 次世代
セキュリティシステムの開発

先端技術の実用化の追求

全 AIやIoTを活用した
新システム・サービスの開発

全 先端技術を扱える人材の育成

個別施策

Individual measures

高収益事業へ経営資源の選択と集中を行うことで
社員一人ひとりの生産性向上を図る

画像サービスの拡充と拡販体制の確立

- 全 画像サービスの高付加価値化
- 全 営業員一人当たりの売上の伸長
- 常 常駐警備と画像サービスの融合

M & A の推進

- 機 M & A 推進体制の整備

人的警備の省力化の促進

- 常 基準に沿った委託化の推進
- 常 常駐警備における機械化比率のアップ

高付加価値が目に見えて 実感できるサービスの提供

- 全 C S Pブランドの確立

- 常 高品質・高収益型の
常駐サービスの追求

- 機 収益力の
高い技術サービスの追求

- 機 提供サービスの抜本的な整理

- 機 お客様ニーズに沿った
サービスメニューの拡充

- 運 提案型サービスの推進

収益力の 向上

個別施策

Individual measures

コンプライアンスの遵守と多様性を
享受できる強くて柔軟な組織づくり

全 価値観共有教育・研修の充実

全 勤務環境の整備促進

全 多様性にもとづく職域の拡大

全 委託先管理の強化

管 危機管理体制の整備

基盤となるインフラの整備を推し進め
社員がやりがいを感じ安心して働ける職場をつくり
人材の育成と活性化を図るとともに、
人とサービスの品質向上を目指す

最大限のパフォーマンスと省力化の追求

機 サービス提供インフラの整備

機 サービス対応エリアの拡大

運 機能集約・共同化による
効率アップ

基盤 の 最適化

さらなるCS(顧客満足)の展開と
ES(社員満足)の実現

全 安定的な人材の確保

全 やりがいを感じ安心して働ける
会社にするための仕組みづくり

管 さらなるCS推進に向けた
仕組みづくり

個別施策

Individual measures

グループの役割分担を明確にするとともに、グループ間連携の強化を図りグループ各社が最大のパフォーマンスを発揮できる体制を構築しグループ全体としての収益力の向上を図る

